

平成30年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立子育てふれあい広場	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	社会福祉法人むさし野たんぽぽ会	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和4年3月31日	利用料金制導入	一部利用料金制(利用料金及び指定管理料)
導入年月日	平成18年9月1日	指定回数	4回
施設設置目的	子育てふれあい広場は、乳幼児を子育て中の家庭に交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報の提供、助言及び乳幼児の一時預かりの実施など、子育て家庭に対する総合的な支援を行うことにより、地域における子育て支援基盤を形成し、誰もが安心して子育てができるまちの実現をめざし設置。		
施設概要	【所在地】ふじみ野市霞ヶ丘1丁目2番7号「ふじみ野市サービスセンター内」1階【専用面積】295.88㎡【施設内概要】①一時預かり室80.97㎡ ②つどいの広場107.71㎡ ③事務室17.35㎡ ④幼児用便所18.24㎡ ⑤調理室4.38㎡ ⑥授乳室5.26㎡ ⑦休憩・更衣室10.75㎡ ⑧前室51.22㎡		
管理運営の基本方針	①子育てふれあい広場の設置目的に照らし適切な管理運営を行う。②公の施設であることを念頭に置いて、公平な運営に努める。③利用者の意見を反映する。④個人情報保護を徹底する。⑤苦情解決体制をとり、サービス向上に努める。⑥効率的な管理運営に努める。⑦管理責任者及び火元責任者を配置する。⑧従事者の研修を行い資質向上に努める。⑨健康診断を行い、健康管理に努める。⑩安全管理に配慮し火災、損傷を防止し財産の保全を図ると共に利用者及び事業従事者の安全確保に努める。⑪衛生管理に配慮し、快適な状態の保持に努める。⑫火事、事故等の緊急事態に備え、防災計画を定め避難、救出等の訓練を定期的実施する。		
指定管理者の主な業務	①ふれあい広場の維持管理 ②子育て家庭に対する交流の場の提供 ③子育てに関する情報の提供 ④子育てに関する相談業務 ⑤子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ⑥関係機関との連携 ⑦子育て家庭の支援に関する乳幼児の一時預かり		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合/3:業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合/2:実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合/1:目標値を大きく下回る場合

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	施設の設置目的及び市が示した基本方針に従い管理運営を進めており、事業毎のアンケートに加え、平成30年度からは利用者アンケートを実施し、施設利用者のニーズや意見・要望をより多く反映できるようにした。また、低年齢児(0歳～2歳)親子の利用割合が増加していることから、低年齢親子が参加できる事業内容に変更するなど、運営方法を工夫している。更につどいの広場利用者について、昨年度から実施している「ほっこりタイム」では、よみかせや手遊び、ふれあい遊びなど実践遊びを取り入れ、利用者から好評を得ている。さらに、ふじみ野Fメール、電子母子手帳「母子モ」等多くの宣伝媒体を活用し、事業内容の紹介を子育て世帯に発信するなど、利用者拡大に繋げている。	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
市指定事業	①子育てふれあい広場の維持管理 ②子育て家庭に対する交流の場の提供 ③子育てに関する情報の提供 ④子育てに関する相談業務 ⑤子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ⑥子育て家庭の支援に関する関係機関との連携 ⑦乳幼児の一時預かり	
自主事業	①親子リズム(月2回実施504人) ②あかちゃん体操(月1回実施276人) ③絵本のおよみかせ(月1回実施412人) ④わらべうた遊び(月1回実施299人) ⑤壁面制作(年3回実施七夕60人、クリスマス73人、節分58人) ⑥親子バンド活動(つどいの広場に集う母親たちの音楽活動、演奏年5回279人) ⑦シャケちゃんと歌って遊ぼう(夏1回開催71人) ⑧ほっこりタイム(事業のない日全日実施) ⑨おもちゃのひろば(良質おもちゃの紹介、サロン形式、年4回実施78人) ⑩初めてのクラシックコンサート(父親支援講座参加者から生まれたグループ活動122人) ⑪ウクレレミニライブ(地域で活動する音楽グループ、親子参加型演奏会年2回実施76人)	
サービス向上の取り組み	つどいの広場で事業のない日には、「ほっこりタイム」を行っており、その時々の子どもの年齢や状況に合わせた内容とし、子どもが楽しんでいる間にお母さんがホッと一息つける時間を作ることを目的に、年間203回実施した。また、各事業の取り組みの中で終了後に必ずお母さんに声を掛けて、子どもの成長を共感したり、思うように参加しきれなかった場合にはフォローすることを心掛けた。子育て相談の中で言葉の遅れや、発達の遅れがある場合には、保健センターや発育発達支援センターへ繋げるなど連携を行っている。子育てふれあい広場の事業内容について、市のFメール等を通して、子育て世帯に詳細な情報を発信し、参加を呼び掛けた。また、子育て支援拠点会議にも出席し、12カ所ある子育て支援拠点との支援方法や情報共有に努めた。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)		3

3 施設の有効活用

		利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
施設利用状況		つどいの広場利用者数	22,000 人	20,669 人	107.1%	94.0%	
		一時保育利用者数	1,200 人	1,033 人	103.6%	86.1%	
		子育て相談件数	200 件	226 件	71.5%	113.0%	
		(特記事項) 子育てふれあい広場事業のふじみ野Fメールなど宣伝媒体を増やしたことにより、事業の参加者・つどいの広場が7.1%、一時預かりの利用者数が3.6%の増加した。利用年齢は平成29年度同様、0・1・2・3歳と低年齢児が多かった。子育てについての相談件数は、正規職員のみ相談を受けており、産休者が多く前年比28%減少した。今年度は産休代替職員も相談を受けるように変更し、多くの利用者からの相談について丁寧に向き合い、相談内容によっては引き続き、他機関との連携を図れるようにする。					
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	【管理業務の範囲】: ふじみ野市立子育てふれあい広場の管理運営に関する基本協定書第12条 (1)ふれあい広場の維持管理に関すること (2)子育て家庭に対する交流の場の提供に関すること (3)子育てに関する情報の提供に関すること (4)子育てに関する相談業務に関すること (5)子育て及び子育て支援に関する講習の実施に関すること (6)子育て家庭の支援に関する関係機関との連携に関すること (7)乳幼児の一時預かりに関すること (8)その他市長が必要と認める業務に関すること					
	自主事業	【市指定事業に基づいた自主的な事業】 (1)あかちゃん体操 (2)わらべうた遊び (3)親子リズム (4)絵本のよみきかせ (5)おもちゃのひろば (6)壁面制作 (7)親子のバンド活動 (8)ひろばコンサート (9)ほっこりタイム (10)父母の趣味・得意を活かす活動 (11)「シャケちゃんどうだって遊ぼう」諸経費の一部負担として参加費100円を徴収		【市指定事業に基づいた自主的な事業】 (1)ほっこりタイム 昨年度の内容に加え、よみきかせ、手遊びやふれあい遊びの実践遊びを導入 【未実施事業】 (1)親子フェスティバル 12施設ある子育て支援拠点で合同事業を計画したが、調整がつかず実現しなかったため。			
利用サービス向上の取組	つどいの広場では土・日・祝日・長期の休みには幼児の利用が多くなるため、親子で一緒に遊べるおもちゃを増やした。「ほっこりタイム」では、絵本のよみきかせやふれあい遊びのほか、「さかなつり」「新聞ちぎり」「小麦粉粘土」「体操」など多種多様な事業の中からその時々の子供の年齢や利用状況に合わせた事業の提供を行った。また、絵本を毎月1冊ずつ職員が吟味して購入したことにより、魅力ある絵本が増え親子で読み聞かせを楽しむ姿が多く見られるようになった。						

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケートの実施 ①活動毎アンケート ②利用者全体アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 ①事業終了時に参加者から事業についての感想 (実施時期)各事業終了後 (調査方法)事業終了時に利用者に記入してもらう (回収率) 100% (調査項目)事業についての感想 ②利用者アンケートを実施 (実施時期)平成30年1月22日～2月9日 (調査方法)窓口にてアンケートを配布 (回収) 38枚(乳幼児のいる中で可能な限り協力を求めた) (調査項目) 性別、住所、来所方法、年齢、つどいの広場について、一時保育について、事業について、感想</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 ①事業後利用者アンケートを集計し、職員間でそれぞれ反省会を行いながらできることから見直しを行った。 ②利用者の感想と要望の把握に努めた。 アンケート結果 性別(男性7.9%、女性92.1%)、住所(ふじみ野市81.5%)、来所方法(徒歩68.4%)、子どもの年齢(0歳18.4%、1歳34.2%、2歳31.6%、3歳26.3%)、つどいの広場の利用(月1～2回39.4%、週1～2回28.9%)、一時保育の利用(利用したことがある26.3%、登録しているが利用したことがない15.8%、登録していない57.9%)、広場の事業について(通信「ひろば」47.3%、市報31.5%)</p>	
利用者からの評価・要望・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 満足度が高い事業 親子リズム、わらべうた、よみきかせ、ガチャガチャバンドの演奏会 利用者からの評価 (親子リズム)いつも抱っこ抱っこでやらないが、今日のはびのびと動いて良かった。1時間あつという間で親もリフレッシュできた。 (わらべうた)子どもも参加を重ねるたびに慣れてきて嬉しい。落ち着きのない子だが楽しめていた。家で機嫌が悪いとき抱っこして歌うと落ち着く。懐かしいうたや忘れていたものもあり親も本気で遊び楽しかった。子どもの頃にやっていた遊びができて楽しい。子どもに日本の文化を継承して貰いたいので参加を続けたい。 (よみきかせ)真剣な目で子どもが絵本を見ている様子が微笑ましかった。最近子供が絵本ブームのようで前回来た時よりも楽しめていた。久しぶりに参加したが楽しかった。 (ガチャガチャバンド演奏会)子どもの知っている曲ばかりだったので、一緒に体を動かして楽しんでた。暖かい雰囲気でも笑みもあり楽しかった。アットホームな感じがして良い。月齢が低くても楽しめたので参加して良かった。 (赤ちゃん体操)子どもとの触れ合いの時間がとれてよかった。同じ月齢くらいのお母さん達と話ができて楽しかった。簡単な遊びでいいのだとわかり、家事の合間に出来そうなのでやってみようと思う。体操だけだと思ったらお母さん同士の交流があって嬉しかった。他の子と触れ合って刺激を受けたいので参加したが、親も運動になって楽しかった。 (お父さんの日曜教室)自分自身を振り返り考えるきっかけになった。パパ友が欲しかったので参加して良かった。パートナーや家事・育児について新たな発見があった。主人にパパ友ができれば嬉しい。 (壁面制作)簡単な制作で、小さい子どもでも参加できるのが良い。 (シャケちゃんとうたってあそぼう)シャケちゃんの歌を聞いてとてもハッピーな気持ちになった。想像以上に楽しかったのでまた参加したい。土日にこのようなイベントが増えると嬉しい。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 <事業について> ①わらべうたあそびは、とても楽しいので、40分から1時間くらいに延長してほしい。 ②人気のあるおもちゃはタイミングが合わず遊べなくて残念だった。 ③よみきかせの時に、いつもなかなか聞いてもらえないので、おもちゃやボールなど多少触らせてもらえると良いと思う。 <つどいの広場> ④ご飯やおやつが食べられるスペースがあると良い。 ⑤イベントで自由に利用できずつどいの広場に入れないことがあった。 ⑥子どもがジャンルを問わず歌や曲を聞くのが好きなので、つどいの広場でクラシックなどかかっているのも素敵だと思う。 <一時預かり> ⑦市外の人でも預かってもらいたい。 ⑧1回5時間までの時間制限を延ばしてほしい。 <その他> ⑨一時預かりに「お迎え時間を必ずお守りください。1分でも遅れた場合は延長保育料をいただきます」と明記しているが、利用者から1分以内なら大丈夫ではないかとの意見があった。 ⑩夏場熱いのでベビーカーに保冷剤入れてくるので、帰りのために冷蔵庫を貸してもらいたい。</p> <p>《対応措置》 <事業についての対応措置> ①子どもにとっては現在行っている30分という時間が集中して遊べる適当な時間です。楽しいと感じてもらえてうれしいので、継続して参加してもらいたい。 ②参加者の様子を把握し、スタッフや職員が声を掛けながら様々なおもちゃに触れることができるように配慮していく。 ③「この時間はよみきかせの時間」と子供に伝えていくことも大切なことであり、他の子もいる中で遊びを了承するのは難しい。 ④食物アレルギーの児童が多い中での実施は、臭いなどで気分が悪くなる児童も出てしまう事への影響を考慮し、禁止としている。 ⑤場所に限りがあるので、事業があるときは、入り口につどいの広場を開放できる事業終了時刻などを明示した張り紙をした。 ⑥多くの利用者が満足してもらえるような環境づくりに努める。 ⑦一時預かりの利用基準で市民で生後6か月以上小学校入学前までの児童としている。 ⑧ふれあい広場の一時預かりの目的は、保護者のリフレッシュや急な用事など一時的な預かりを目的としていますので5時間までの制限としている。 ⑨定時でお迎えに来ていただきたい旨を伝え、一時預かりを1分から定時に変更する予定。 ⑩冷蔵庫は一時預かりの児童のお弁当用の冷蔵庫なので、安全面や衛生面を考慮すると併用することが難しいので、つどいの広場に保冷剤BOXを置き、希望者に利用していただいた。</p>	

5 事業収支

	指定管理者収支(平成30年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
指定管理業務 事業収支 (単位:円)	収入	利用料金	2,600,000	利用料金	2,498,950	歳入	施設使用料		施設使用料	
		指定管理料	25,876,500	指定管理料	25,876,500		行政財産使用料		行政財産使用料	
		自主事業※	35,000	自主事業※	3,100		国庫支出金	5,130,000	国庫支出金	5,091,000
		雑入	1,500	雑入	12,539		県支出金	5,130,000	県支出金	5,091,000
				その他			その他		その他	
		計	28,513,000	計	28,391,089	計	10,260,000	計	10,182,000	
	支出	人件費	25,407,000	人件費	24,657,577	歳出	修繕料		修繕料	
		消耗品費	350,000	消耗品費	493,473		保険料		保険料	
		光熱水費	700,000	光熱水費	805,508		指定管理料	25,876,500	指定管理料	25,500,000
		委託料	50,000	委託料	259,445		業務委託料		業務委託料	
		賃借料	133,488	賃借料	120,307		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料	
		通信費	100,000	通信費	152,559		その他		その他	
		保険料	185,000	保険料	204,433					
		修繕費	0	修繕費	0					
		事業費(市指定事業)	567,512	事業費(市指定事業)	412,686					
		事業費(自主事業)	35,000	事業費(自主事業)	30,000					
		公租公課	0	公租公課	0					
		現場管理費	635,000	現場管理費	728,021					
		一般管理費(本社経費等)	350,000	一般管理費(本社経費等)	377,000					
			計	28,513,000	計		28,241,009	計	25,876,500	計
損益	0		150,080	差引	△ 15,616,500		△ 15,318,000			
自主事業収支 (単位:円)	収入	35,000	収入	3,100						
	支出	35,000	支出	30,000						
	損益	0	自主事業損益	△ 26,900						
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】							87.3%		
	事業収支における経営分析			人件費率が87.3%と支出の大部分を占めている。保育の質と量の確保を考えると人件費を抑制することは難しいが、保育の質と量を確保するための事業収支としては、おおむね適正であると考え。今後13年目を迎え、ハード面での修繕が発生すると考えられるが、限られた経費の中で計画的な運用を期待する。また、自主事業についても大きな収入となる新たな提案を期待する。						
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由			定款や役員の変更があり、登記簿の変更を行う作業が発生したこと、また行政書士への委託料や年末調整等の税理士への委託料について当初計画額より多くかかってしまったため。						

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価	
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか	適	3	
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適		
	配置実績			正規職員 7人及び非常勤職員 5人(幼稚園教諭1人 正規・非常勤保育士 11人)、経理事務(本部職員)1人
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適		
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適		
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適		
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適		
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
特記事項	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか	適		

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」、「4」、「5」、「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目	評価	総合評価		子育て支援施設
		B		
総合評価		B		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定書及び仕様書の内容に基づき、適正に管理運営できている。特に「つどいの広場」において、利用者のニーズに応じ、工夫を凝らした様々な事業を計画し、実施している。 広報活動などにも力を入れ、通信「ひろば」、市報、ホームページ、Fメールなどを通じて子育て世帯向けに周知を行い、利用者の増加に繋がった。 「つどいの広場」では、いつでも子育てについての悩みなどの相談事も聞くことができる環境づくりを行っている。さらに、一時預かりについても安心して利用できる場所として、利用者からは評価を得ている。 子育て支援拠点会議に出席しており、市及び他の子育て支援拠点とも連携が図られている。子育て支援者研修として講師を招き、152人の出席者を集める講演会を共同で実施し、好評であった。 「つどいの広場」の活動を通じて、子育て支援グループや自主活動グループの育成にも力を入れている。劇団グループ・ウクレレのグループなどふれあい広場以外の場所での発表なども行うなど成果を得ている。 コネ1階上福岡駅前商業地域の立地条件を活かし、一時預かり、つどいの広場、子育て相談、情報提供など多面的事業を企画提供している。 よみかせでは、毎月一人ずつ担当した職員が利用者目線になり、本を探し、利用者へよみかせするという取組を始めた。利用者の反応も直接伝わるため、選定する職員も今まで以上に士気が高まり、事業に取り組む意識が変わってきている。 			
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	<ul style="list-style-type: none"> 事業の合間に保護者がゆっくりほっとできる時間として「ほっこりタイム」を充実させ、つどいの広場の雰囲気を変えていく。 自主事業の充実を図り、収入が見込める事業を企画検討し、実施する。 法人ホームページ、ふじみ野Fメール、市広報誌などを積極的に活用し、ふれあい広場の事業の周知を図り利用者の確保につなげる。 一時保育利用料金の改定。平日午前9時から午後5時まで1時間600円。平日午後5時から午後8時及び土日・祝日1時間700円。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほっこりタイム」は事業のない日の昼前や夕方にも取り組んだ。それを楽しみに通う方や、事業に参加しない親子の受け皿にもなっている。さらに読み聞かせ事業と組み合わせるなどして利用者から好評であった。 「シャケちゃんとうたってあそぼう」では今年度初めて1家族100円の参加費を徴収した。 ホームページやふじみ野Fメールを活用し事業の周知を図ったこともあり、事業の参加や広場利用・一時保育利用の増加傾向が見られた。 平成30年4月1日から利用料金の改定を行い、混乱なく実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わいわい子育てミニサロン」実施に向けて準備していく。 ふれあい広場職員独自の避難訓練(火災・地震・不審者)を定期的に取り組み。 つどいの広場及び一時預かり利用者が更に増加するように事業の充実及び広報活動に努める。 参加費を徴収する自主事業を増加させていく。 	

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・利用者アンケートを今年から実施し、利用者の性別、住所、来所方法、子どもの年齢や事業について伺い、要望を取り入れながら、業計画を立て、利用者の満足度を高めた。
- ・全ての職員が保育士又は幼稚園教諭資格を保有しており、そのほか社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、相談支援専門員など幅広い知識を持った職員と連携、協力して子育て相談に対応することができた。
- ・職員研修について、救命救急講習、おう吐対応法の実施、虐待防止・発達支援研修、子育て支援員研修、くまさん文庫&ふれあい広場交流研修会、子育て支援者研修会などに職員が参加し、様々な経験を積んだことで質の高い事業や保育ができた。
- ・「ほっこりタイム」では子どもが楽しんでいる間、お母さんがホッと息を抜ける場になるようにと心掛けた。事業に参加しない親子の受け皿にもなっている。また、その時間に担当職員が選定した本のよみきかせを行い、前年よりさらに充実したほっこりタイムとしての事業が定着してきた。
- ・つどいの広場の利用者が低年齢化していることから、各事業では低年齢児でも親子で一緒に楽しめるようわらべうたあそびやふれあいあそびなどスキンシップを多く取り入れた内容で実施している。
- ・「得意を活かす子育て」イベント活動を自主事業に含めて、グループの育成と繋げた。(ママ友のつどい、お父さんのクラシック音楽グループ、子どもの演劇グループ、おもちゃ美術館に対する関係する母親グループが木製遊具の良さを紹介、コネクトーチャンの会)
- ・低年齢児利用者のけが防止のため衝立などで仕切りを作り、赤ちゃんコーナーを設置した。
- ・幅広い幼児が親子で一緒に楽しんでもらえるようなおもちゃを多く取り入れた。段ボールを使ったおもちゃも広場の定番となり、乳幼児に楽しんでもらっている。
- ・「つどいの広場」では広報の充実を図った。ふじみ野Fメール・市広報誌・法人のホームページへ掲載し周知した。
- ・自主事業で行っている「親子リズム」について、今年度も保育士専門の研修「保育士のためのリズム交流会」に4名の職員が参加したことにより、自信をもって取り組めるようになった。

② 業務効率化に対する取組

- ・子育て相談の充実を図るため、職員研修、記録の充実と職員間の共有を図った。子育て事情を把握し、子育て講座にも反映できるようにした。
- ・複数の職員で事業活動を兼務することとし、積極的に職員同士でアドバイスしあうなど事業効率化を図ることができた。

③ その他

- ・毎日業務開始前に施設やおもちゃの清掃を行いながら、危険な箇所がないか安全点検を行っている。安全マニュアルについても、月1回の定例会議で職員間の確認をしている。
- ・苦情に迅速に対応できるよう苦情処理体制を整え、対応内容など職員間で情報の共有を図った。
- ・前日の子育てふれあい広場の様子などを全職員で情報共有するため、職員同士の引継ぎや打合せも欠かさず行っている。
- ・子育て支援拠点会議に出席し、市内の子育て支援施設と支援方法や情報共有することでサービスの向上に努めている。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・事故やケガがおきないように職員間で常に安全確認に努め、見守り活動を実施や安全チェックを心掛けていく。
- ・産休・育休職員の補充職員を確保する。
- ・会館(ココネ)合同による避難訓練の他、広場職員独自の避難訓練を定期的を実施していく。(火災・地震・不審者対策)

(3) 次年度以降の取組

- ・「わいわい子育てミニサロン」の実施。ひとりぼっちで子育てしないでをキャッチフレーズに新活動として、利用者が普段の広場の中で自然な形で交流できるようにする事業を立ち上げるための準備を進める。
- ・今年度は利用者から参加費を徴収する自主事業を始めて行った。次年度はさらに事業数を増やしていく。